

全国各地で集団的自衛権の行使容認反対のたたかいが広がっています。各地のとりくみを紹介します。

埼玉**「輝け！日本国憲法のつどい」開催**

5月21日、埼玉会館で、憲法会議主催の「輝け！日本国憲法のつどい」が開催され、会場は安倍政権の改憲暴走に危機感をもつ参加者で埋め尽くされました。はじめに代表委員の柴田泰彦さん（埼玉労連）が、「本日、福井県の大飯原発の稼働差し止め判決がでた」と報告すると参加者から「おーっ」と大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

「安倍政権下、埼玉で何が？」と、二橋元長さん（平和委員会）が、最近埼玉の空を我が物顔に飛び回る自衛隊や米軍機について告発。教育現場からは弘津次久さん（埼玉高教）が、修学旅行生の感想文にまで介入する県議会の異様さを報告。諸井武志さん（埼玉労連）が、朝早く

から夜中まで3つの仕事を掛け持ちしながら、月13万円しかもらえない女性労働者の深刻な事例を紹介し、憲法を生かすことの大切さを訴えました。

講演では、森英樹さん（名古屋大名誉居教授）が、「戦争する国ストップ—改憲も壊憲も許さない！」の演題でギャグを交え、ユーモア溢れる話で、参加者をグイグイ引き付け、途中退席者はゼロでした。

最後に、青木努埼玉憲法会議事務局長が埼玉弁護士会との話し合いがもたれ「共同」の輪が大きく広がっていることを報告。同会が企画している6月9日の昼休みパレード（12:00 県庁前～浦和駅）や7月31日、埼玉会館大ホールで開催される集団的自衛権行使容認反対の講演会への参加も呼びかけました。各地域では、署名の取り組みと、地方議会での意見書採択推進。「9の日宣伝」をより積極的に取り組むことなど、憲法会議からの「お願い」がありました。

（埼玉憲法会議ニュース ききゅう NO.102 より）

兵庫**「第36回憲法を守るはりま集会」開催**

「もう一度動き出そう！憲法を守るために 第36回憲法を守るはりま集会」が5月6日、姫路市文化センターで開催されました。多数の市民が参加し活気ある集会となりました。

集会は「はりま希望の合唱団」50人による美しい合唱で開会。冒頭実行委員会を代表してあいさつに立った谷口善弘実行委員長は「憲法施行から67年にあたる今、安倍政権のもとで憲法を改悪し戦争できる国づくりが強まっていることに多くの市民が心配し、憲法守れの声が強まっています。改憲ストップに共に力を合わせましょう」と訴えました。

この後、「明日の自由を守る若手弁護士の会」による「憲法が出来るまで」と題するコメディ劇。笑いの中にも憲法の大切さが伝わってくるショーに笑顔と共感が広がりました。

集会のメインは石川康宏神戸女子大学教授による「日本の病の治し方」と題する講演。安倍政権が世論を無視して強引に改憲を推し進める背景になにがあるのか、他の政党はそれに対してどう対応しているのか、日本の未来にとって何が重要か、実に分かりやすく話され講演に強く引き込まれました。

（職場に憲法を生かす新日鉄広畑の会「かがり火」第48号より）

青森**集団的自衛権と解釈改憲を許さない集会に150人**

5月28日、憲法ネットあおもり、憲法を守る青森県民の会、県労連、県9条の会、首長9条の会、日本共産党や社民党など10団体による「集団的自衛権と解釈改憲を許さない！青森集会」が、青い森公園で開催され、昼休みにもかかわらず150人が参加、元気にデモ行進、市民にアピールしました。

憲法ネットあおもりの集団的自衛権行使容認反対の街宣・署名活動は、次の日程で実施します。

- ① 6月6日(金) 12:45～ さくら野デパート前
- ② 6月24日(火) 13:00～ さくら野デパート前
- ③ 7月9日(水) 12:45～ さくら野デパート前



(憲法ネットあおもり FAX通信より)

北海道自治労連 「憲法キャラバン」懇談始まる

北海道自治労連は、3年間で全道全ての市町村訪問目指す「憲法キャラバン」を開始しました。5月の第3週から、道東・道北・道南の3方面で懇談を開始しました。

道南では、北海道自治労連の斎藤副委員長、函館地域自治体ユニオンの広瀬委員長・佐藤書記長が参加し、5月20日には北斗市・鹿部町・七飯町、翌21日に森町・八雲町・長万部長の6自治体を訪問し首長達との懇談を行いました。七飯町以外の5自治体では、函館市が東京地裁に提訴した大間原発の中止を求める訴訟を支持する意見が表明されました。七飯町でも、飲料水を絶たれるばかりか避難路確保が難しいこともあって原発には反対であり、大間原発建設中止が道南自治体に共通課題になっていました。

《七飯町の中宮町長》は、平和憲法について、「庁舎と函館との境界に“平和宣言”の立て看板が立っているが、森町との境界にも建てたいと思っている。日本の憲法は世界に誇る平和憲法と思う。守っていかないといけない。ガーナという国はやられたらやりかえす国だった。その国が日本の憲法9条を見て武力では解決しないと学んだ。世界に影響を与えている。アメリカは日本を戦争できない国にした。集団的自衛権が行使されるようになれば、自衛官の殉職が増える。自衛隊入隊希望者が減る。挙句の果てには徴兵制しかなくなる。自分たちの子どもや孫の時代にそうなってほしくない。これまで自衛隊が海外に派遣されて無事に帰ってきたのは武器を使用しないからだ。武器を使ったら狙われるに決まっている」と語りました。

(自治労連速報 第640号より)

山口 9教職員組合「安倍教育改革」反対声明

山口県内の9つの教職員組合が4日、記者会見し、「学問の自由と教育の政治的中立を守り憲法にもとづく民主的な教育を求める共同アピール」を表明しました。安倍政権が「戦争する国」づくりのため教育や学問に介入する動きに対し、全教や日教組などの組織の違いを超えて一点で共闘し反対の声をあげたものです。

アピールでは、集団的自衛権の行使容認は平和憲法を踏みこむものと述べ、「安倍政権のめざす国づくりのために、『教育再生』がすすめられている」と指摘しています。その上で、今国会で審議中の教育委員会制度「改正」は「首長の権限を強め、教育への政治介入を可能に」し、学校教育法・国立大学法人法「改正」については、「憲法23条に定められた『学問の自由』と、それを保障する『大学の自治』を破壊」と述べています。

(しんぶん赤旗 6月5日)

是非ご参加を STOP! 「戦争する国」づくり 6・11署名提出大集会

「戦争する国」づくりを阻止する決め手は、「戦争はいや」「9条守れ」の平和を守る世論です。行動をひろげ、署名を集め、「戦争する国」への暴走に、共同でストップをかけましょう!

日時：6月11日(水) 13:30～

会場：参院議員会館講堂

憲法署名と秘密保護法廃止署名、集団的自衛権行使容認反対署名など、戦争する国づくり許さない署名を国会へ積み上げます!

集会終了後議員要請も行います。

「憲法」ポケットティッシュ

日本の子どもたちのみらいのために
世界の平和のために
憲法9条を守り25条を生かした社会を



値段 1箱 5,000円
(1,000個入り)

*送料は当方で負担します

戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかそう!